

安全・品質 マネジメントアプローチ

基本的な考え方

カネカグループは、「安全」を経営の最重要課題と位置付け、健全かつ安全な職場づくりに取り組んでいます。また、品質に関しては品質マネジメント規程を定め、製品の安全確保の取り組みを推進しています。

方針

レスポンシブル・ケア基本方針

1. 自然の生態系の保護と環境負荷の低減

企業活動が地球環境と生態系に及ぼす影響に注目して、製品の全ライフサイクルにおいて環境負荷の低減と省資源・省エネルギーに努めます。

2. 安全な製品および情報の提供

当社は安全に流通し、安全に使用できる製品の提供に努めるとともに、製品に関する正しい使い方や取扱方法など、適切な情報の提供に努めます。

3. 環境・安全面に配慮した製品・技術の開発

新製品の開発に当たっては、その全ライフサイクルにわたる「環境・安全」に可能な限り配慮し、環境負荷の少ない製品・技術の開発に努めます。

4. 廃棄物の減量とプラスチックリサイクルの推進

製造に関わる廃棄物を極力減量します。また当社製品に関連するプラスチック廃棄物の適切な処理あるいは再資源化については、関連業界と協力して、その技術を積極的に開発するとともに、適切な処理および再資源化に努めます。

5. 保安防災と労働安全衛生の向上

保安防災は地域社会の信頼の基礎であり、また労働安全衛生は化学会社が達成しなければならない課題です。当社はこれらの絶えざる向上に努力します。

6. 社会からの信頼性の向上

経営者から社員の一人ひとりに至るまで、環境・安全に関する国内外の法・規制・基準類を遵守して行動します。また、これらのレスポンシブル・ケアの取り組みを、正しく社会に公表することにより、社会から正当な評価と信頼を得ることを期待するものです。

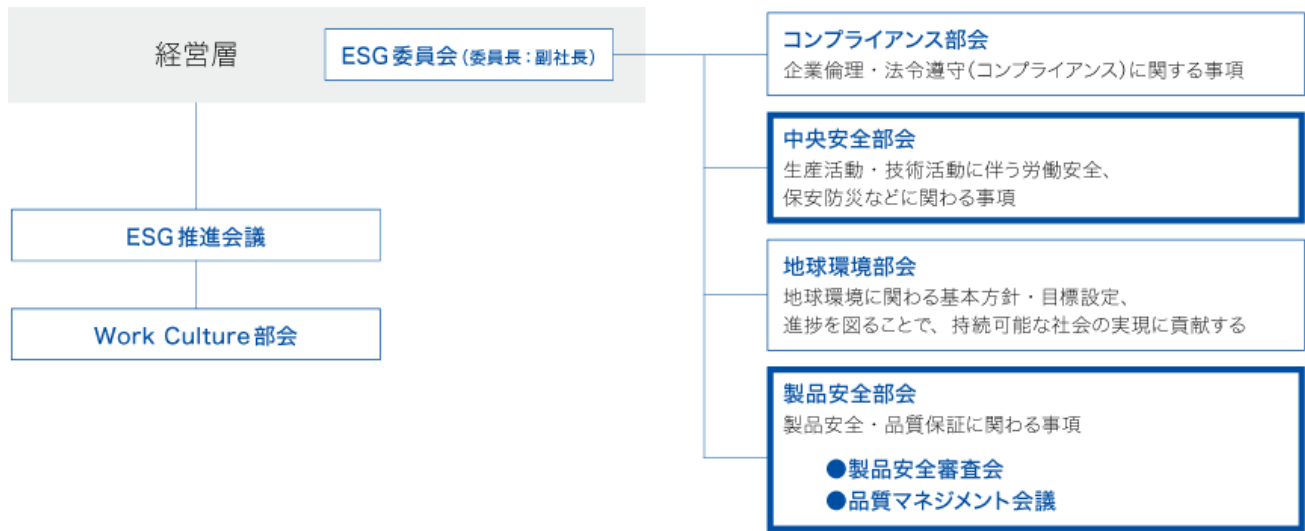
推進体制

品質については、製品安全部会の施策実行組織である「製品安全審査会」「品質マネジメント会議」を設置し、カネカグループの製品安全・品質保証の統括を行っています。

安全については、「安全に関する基本方針」を制定し、全社員およびカネカグループで働く協力会社を含む関係者全員が、無事故、無災害を目標として取り組んでいます。

また経営者自ら、工場を巡回し、現場の状況を確認するとともに、社員との対話を通じて「安全」の重要性を共有しています。この安全に関する取り組みは、中央安全部会で状況を評価しています。

■ 推進体制図



安全・品質 製品責任

品質マネジメント

カネカグループは、安全・安心な製品の安定供給を通して、お客様の満足と社会に貢献していきます。そのために、製品の開発、設計、製造および販売までのすべての段階で、製品の安全確保も含む品質マネジメントに取り組んでいます。

2018年度は以下のような活動を行いました。

- ・ カネカ全工場の製品検査の実施状況を点検し、コンプライアンス面で重大な違反のないことを確認しました。
- ・ 全事業部門の品質マネジメント責任者を招集して品質マネジメント会議を4回開催し、製品安全部会の方針、指示事項を徹底するとともに、意見交換や品質情報の共有を行いました。
- ・ 社員一人ひとりのレベルアップをねらい、外部セミナーへの派遣、外部講師を招いての社内講習会開催などの取り組みを行いました。

製品安全審査会

最近では業容拡大や業態の多様化に伴い、一般消費者を対象とする新分野の製品やサービスなどの審査が増加しています。

2018年度も引き続き、これらの状況にタイムリーかつスピーディに対応するために、製品安全審査会に加えて、製品安全審査会事務局による事前相談（ヒアリング）を活発に実施しました。

化学物質管理

製品などに含有される化学物質の適正管理のため、国際的に法規制の厳格化が進んでいます。当社は、国内外の法規制の遵守を徹底するとともに、当社製品を適切に取り扱っていただくため、GHS（※1）に対応したラベルによる表示やSDS（安全データシート）などにより化学物質に関する情報を積極的に提供しています。

※1 GHS (Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals)：世界的に統一された化学品の危険有害性（ハザード）ごとの分類基準のルール。

監査・査察

カネカグループではISO9001などの規格・基準に基づいて、外部機関による監査・審査を定期的に受けています。また、「ESG安全・品質査察」や内部監査により、品質に関する活動状況を確認し、品質のレベルアップに取り組んでいます。

2018年度は以下のような取り組みを実施しました。

- ・ 機能性食品・食品分野、電気・電子材料分野、高機能性樹脂分野を対象に、外部専門家を加えた査察を実施しました。
- ・ 定量評価による強み・弱みの明確化に継続して取り組むとともに、国内全グループ会社では、監査チェックリストを用いた自己点検方式による監査を実施しました。
- ・ 内部監査員の養成と教育を継続して実施し、監査力のさらなる強化に取り組みました。

CHECK & ACT

内部監査の実施により、カネカグループ各社での自己点検・改善力の向上につながりました。

今後も「製品安全部会」によるセンター機能発揮と、現場力向上により、品質マネジメントシステムを有効に機能させていきます。

各認証取得状況

■ カネカおよびグループ会社のISO9001認証取得状況

事業部門・グループ会社 (SV: Solutions Vehicle)	主な製品	認証機関／登録番号
Vinyls and Chlor-Alkali SV	苛性ソーダ、塩酸、次亜塩素酸ソーダ、液化塩素、塩化ビニルモノマー、塩化ビニル樹脂、塩化ビニルペースト樹脂、耐熱塩化ビニル樹脂、OXY（オキシ）触媒	JCQA / JCQA-1263
Performance Polymers (MOD) SV	強化剤用樹脂（カネエースBなど）、加工性改良・特性付与樹脂（カネエースPAなど）、液状硬化性樹脂用改質剤（カネエースMX）、射出成形用エンジニアリング樹脂（ハイパーライト）、射出成形用ゼロ複屈折透明アクリル樹脂（ハイパーライト）、アクリル系樹脂フィルム（サンデュレン）	LRQA / 10189365
Performance Polymers (MS) SV	変成シリコンポリマー（カネカMSポリマーなど）、アクリルシリコン系ポリマー（ゼムラック）、末端反応型液状アクリル樹脂（KANEKA XMAPなど）、イソブチレン系熱可塑性エラストマー（SIBSTAR）	
Foam & Residential Techs SV	ビーズ法発泡ポリオレフィン樹脂および成形品（エペラン、エペラン-PP）、ビーズ法発泡ポリスチレン樹脂（カネパール）、押出発泡ポリスチレンボード（カネライト）	JCQA / JCQA-0673
北海道カネライト（株）		
九州カネライト（株）		
E & I Technology SV	超耐熱ポリイミドフィルム（アピカル、ピクシオ）、高精度光学フィルム（エルメック）、複合磁性材料（カネカフラックス）、積層断熱材、電力ケーブル保護管、超高熱伝導グラファイトシート（グラフィニティ）、熱伝導性エラストマー、フレキシブルカバーコートインク	LRQA / YKA0935762
	高耐熱・高耐光性樹脂および成形品	DNV / 01635-2006-AQ-KOB-RvA/JAB
PV & Energy management SV	太陽電池	JQA / JQA-QMA13200
カネカソーラーテック（株）		
カネカソーラー販売（株）		
Foods & Agris SV	マーガリン、ショートニング、食用油脂、食用精製加工油脂、ホイップクリーム、濃縮乳、調整乳、発酵乳、フラワーペースト、バタークリーム、チョコレート、冷凍生地、チーズ、マヨネーズ、調理フィリング、調理済加工食品、イースト、不凍タンパク質、不凍多糖、調味素材	JQA / JQA-QMA10274
高砂工業所 食品部		
（株）カネカフード		
（株）東京カネカフード		
長島食品（株）		

事業部門・グループ会社 (SV: Solutions Vehicle)	主な製品	認証機関／登録番号
カネカ食品（株）	加工食品およびその原材料の仕入、設計、販売、技術サービスおよび品質保証、食品加工など機械の販売	
（株）エヌ・ジェイ・エフ	委託加工先の生産指示	
OLED事業開発プロジェクト	有機EL照明	JMAQA / JMAQA-2532
OLED青森（株）		
昭和化成工業（株）	プラスチック・コンパウンド	ASR / Q0556
龍田化学（株）	プラスチックフィルム、プラスチックシート	BVJ / 3882662
サンビック（株）	合成樹脂シート・フィルム	JMAQA / JMAQA-1824
東武化学（株）	プラスチック壁紙、塩化ビニル樹脂壁紙	LRQA / YKA0958154
セメダイン（株）	一般用・工業用接着剤、シーリング材ならびに特殊塗料の開発と製造	JCQA / JCQA-0386
関東スチレン（株）	発泡スチロール成形品	JACO / QC03J0233
カネカフォームプラスチック（株）真岡工場	発泡ポリオレフィン成形品の製造	ASR / Q1919
カネカフォームプラスチック（株）九州工場	発泡ポリオレフィン成形品の製造	JACO / QC17J0033
玉井化成（株）	蓄熱材（パッサーモ）の受注から製造、検査、出荷にかかわる一連の業務	ASR / Q4131
（株）ヴィーネックス	エレクトロニクス部品	JSA / JSAQ2593
新化食品（株）	製パン・製菓用改良剤、フルーツ加工品、委託品（マーガリン、調味用フィリング、調整乳）	JQA / JQA-QMA15323
太陽油脂（株）	マーガリン類、ショートニング、食用精製加工油脂、食用植物油脂、精製ラード、その他の食用油脂、油脂加工品、乳製品、食品添加物	JQA / JQA-QMA14671
（株）カネカサンスパイ	①香辛料および香辛料を使った二次加工品 ②一般加工食品およびその原材料の仕入れ販売	JQA / JQA-QMA11351
栃木カネカ（株）	複合磁性材料（カネカフラックス）、積層断熱材、超高熱伝導グラファイトシート（グラフィニティ）	LRQA / YKA0958035
カネカベルギーN.V.	樹脂改質材（カネエース）、ビーズ法発泡ポリオレフィン（エペラン、エペラン-PP）、変成シリコーンポリマー（カネカMSポリマー）、アクリルゾル	AIB-VINCOTTE / BE-91 QMS 028i
カネカノースアメリカ LLC	超耐熱ポリイミドフィルム（アピカル）、樹脂改質材（カネエース、カネカテルアロイ）、耐熱塩化ビニル樹脂、変成シリコーンポリマー（カネカMSポリマー）	BSI / FM72722
カネカマレーシア Sdn. Bhd.	樹脂改質材（カネエース）	SIRIM QAS / QMS 00900

事業部門・グループ会社 (SV : Solutions Vehicle)	主な製品	認証機関／登録番号
カネカアピカルマレーシア Sdn. Bhd.	超耐熱ポリイミドフィルム（アピカル）	SIRIM QAS / AR6269
	超高熱伝導グラファイトシート（グラフィニティ）	SIRIM QAS / AR6270
カネカエペラン Sdn. Bhd.	ビーズ法発泡ポリオレフィン（エペラン、エペラン-PP）	SIRIM QAS / AR2598
カネカペーストポリマー Sdn. Bhd.	塩化ビニルペースト樹脂	SIRIM QAS / AR2321
鐘化（蘇州）緩衝材料有限公司	ビーズ法発泡ポリオレフィン（エペラン、エペラン-PP）	SGS / CN18/20031
鐘化（佛山）高性能材料有限公司	ビーズ法発泡ポリオレフィン（エペラン、エペラン-PP）	Beijing East Allreach certification Center Co., Ltd. / USA16Q27833R0S
カネカイノベイティブファイバース Sdn. Bhd.	合成繊維	SIRIM QAS / AR2321
カネカサンスパイス・ベトナム Co., Ltd.	スパイス、ハーブ、乾燥野菜、ミックススパイスの加工	Intertek Certification Limited / CPRJ-2015-040996
カネカユーロジェンテック S.A.	ライフサイエンス研究開発向け試薬およびサービス	BSI / FS 638601
アナスペック Inc.	研究向けペプチド、抗体、合成レジン、アミノ酸、試薬	SQA/09.357.1

■ カネカおよびグループ会社のISO13485（※2）認証取得状況

事業部門・グループ会社 (SV : Solutions Vehicle)	主な製品	認証機関／登録番号
Medical Devices SV	リクセル、リポソーバー、カテーテル、シラスコン、EDコイル	TÜV SÜD / Q5 024736 0069
（株）カネカメディックス		
カネカファーマベトナム Co., Ltd.		
（株）リバーセイコー	内視鏡（用）処置具	BSI / MD 638600
カネカユーロジェンテック S.A.	体外診断用オリゴヌクレオチド	

※2 ISO13485：医療機器における品質マネジメントシステムの国際規格。

■ カネカおよびグループ会社のISO22000（※3）認証取得状況

製造部署・グループ会社	主な製品	認証機関／登録番号
高砂工業所 医薬品部	コエンザイムQ10（カネカQ10、カネカQH）	SGS / JP10 / 030379
（株）カネカサンスパイ ス	香辛料および香辛料を使った二次加工製品	JQA / JQA-FS0123
カネカサンスパイ ス・ベトナムCo., Ltd.	スパイス、ハーブ、乾燥野菜、ミックススパイスの加工	Intertek Certification Limited / 38191405003

※3 ISO22000：食品安全マネジメントシステムの国際規格。

■ カネカおよびグループ会社のFSSC22000（※4）認証取得状況

事業部門・グループ会社 (SV：Solutions Vehicle)	主な製品	認証機関／登録番号
Foods & Agris SV	マーガリン、ショートニング、フラワーペースト、バターク リーム、食用油脂、食用精製加工油脂、濃縮乳、調整乳、 チーズ、ホイップクリーム、イースト、発酵乳、不凍タン パク質、不凍多糖、調味素材	JQA / JQA-FC0047
高砂工業所 食品部	マーガリン、ショートニング、食用油脂、食用精製加工油 脂、ホイップクリーム、濃縮乳、調整乳、イースト	JQA / JQA-FC0047-1
（株）カネカフード	マーガリン、フラワーペースト、バタークリーム、チー ズ、発酵乳、不凍タンパク質、不凍多糖、調味素材	JQA / JQA-FC0047-2
（株）東京カネカフード	マーガリン、ショートニング、フラワーペースト、バターク リーム、ホイップクリーム	JQA / JQA-FC0047-3
太陽油脂（株）	マーガリン類、ショートニング、食用精製加工油脂、食用 植物油脂、精製ラード、その他の食用油脂、油脂加工品、 乳製品（バター）	JQA / JQA-FC0044
長島食品（株）	冷凍生地（パイ、菓子）	JQA / JQA-FC0109

※4 FSSC22000：ISO22000にISO/TS22002-1要求事項を加えた食品安全マネジメントシステムのセクター規格。

■ グループ会社のISO22716（※5）認証取得状況

グループ会社	主な製品	認証機関／登録番号
太陽油脂（株）	シャンプー、リンス、ボディソープ、ハンドクリーム	BVJ / 3889080

※5 ISO22716：化粧品GMP（優良製造規範）。

安全・品質

保安防災

プロセス事故ゼロを目指して

カネカグループでは、「安全」を経営の最重要課題と位置付け、プロセス事故ゼロを目指した取り組みを行っています。2018年度は①「安全の取り組みをグローバルに展開し、確実な定着を図る」②「危険意識とリスク抽出能力を高める」③「全社危機管理の運用を周知、徹底する」④「健康で働きがいのある企業風土を実現する」を主要課題として取り組みました。軽微なものも含め12件のプロセス事故が発生しましたが、人的被害、地域社会の皆さまへの影響はありませんでした。発生原因を速やかにカネカグループ全体に水平展開し、再発防止に努めています。また、発生件数が多い海外グループ会社の工場について、現地での安全点検や指導を行うなど、カネカグループ全体として安全技術のレベルアップに努めています。これらの活動を継続し、安全・安心な事業活動を推進していきます。

安全に関する基本方針

- 安全の確保は、経営の基盤をなすものであり、あらゆる事業活動の基本である。
われわれは、会社における全ての活動において、安全を優先して行動する。
- 安全の確保は、地域社会や世界の信頼の基礎である。
われわれは、信頼を高めるために全力を尽くす。
- 安全の確保は、「すべての事故は防止できる」との信念に基づくものである。
われわれは、中途半端な成果に満足することなく、常に前進をめざす。
- 安全の確保のためには職務に応じてすべての社員に果たすべき責任がある。
われわれは、その職務が何であるかをお互いに明らかにして、責任を全うする。
- 安全は、絶えず守り続けなければならない。
われわれは、日常の地道な努力の積み重ねを通し、安全を確かなものとする。

防災訓練の実施

カネカ全工場では、有事に備え、対応力向上のため、毎年地域行政と連携し訓練を行っています。

2018年度は、大規模地震、危険物の漏えい火災などの発生を想定したシナリオに基づき、総合防災訓練を実施しました。

■ 総合防災訓練

事業場名	実施年月日	参加者数	内容
高砂工業所	2018年12月14日	2,079名	地震発生により、可燃性ガスが漏えいし火災が発生したことを想定した消火訓練を高砂市消防本部と合同で実施
大阪工場	2018年10月25日	1,101名	地震発生により、可燃性ガスが漏えいし火災が発生したことを想定した消火訓練を摂津市消防本部と合同で実施
滋賀工場	2018年11月14日	479名	地震発生により、生産建屋の火災が発生したことを想定した消火訓練を実施
鹿島工場	2018年10月18日	130名	地震発生により、高圧ガスが漏えいし火災が発生したことを想定した消火訓練を実施（西地区）
	2018年11月27日	230名	地震発生により、高圧ガスが漏えいしたことを想定した被害拡大防止訓練を東部コンビナート共同施設隊と合同で実施（東地区）



地域行政と連携した総合防災訓練

プラント安全確保の取り組み

社外有識者によるHAZOP（※）研修会を開催し、安全評価者のリスク評価レベルの向上を図りました。また、化学品の混触リスク評価手法や反応での熱暴走評価法の確立を行うなど、継続して安全技術の向上に努め、プラントの安全確保につなげていきます。

※ HAZOP (Hazard and Operability Studies) : ハザード操作性解析のことで化学プラントを対象とするリスク評価手法。

CHECK & ACT

プロセス事故発生件数は横ばいの状態です。さらなる事故件数削減に向けて、リスク評価基準の整備、安全評価者の育成など、リスク評価の徹底および本質安全対策に取り組めます。事故発生時は速やかに公設消防署に通報しておりますが、近隣の住民の皆さまをはじめとする関係先の方々に、多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くおわび申し上げます。

今後も、全社を挙げて再発防止を徹底し、類似事故の防止に努めます。

安全・品質

労働安全衛生

労働安全衛生の取り組み

2018年のカネカグループの労働災害は、12件（休業災害7件、不休業災害5件）発生しました。5年間では減少傾向にありますが、社員一人ひとりの安全意識を高めるべく、ゼロ災行動指針にこだわった安全活動を進めています。

ゼロ災行動指針

- ・ 君も私もかけがえない人
誰一人ケガ人を出さないようにしよう [ゼロ災の決意]
- ・ 安全はみんなで築くもの
一人ひとりが安全を考える時間を持とう [安全への参加]
- ・ 安全に妙手は無い
基本に立ち返り地道に努力しよう [安全は基本から]
- ・ 危険を予知しよう
潜在的危険を撲滅しよう [安全の先取り]
- ・ 災害はすき間で起こる
漏れや、すき間が無いかを常に考えよう [99%は0%]

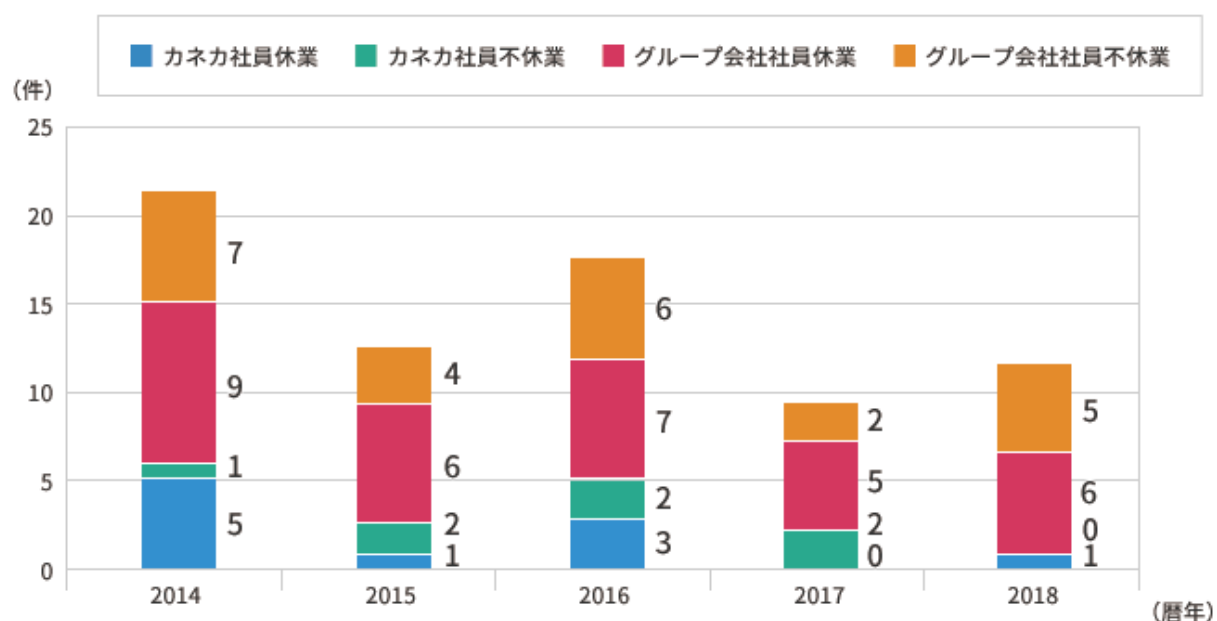
労働安全衛生マネジメントシステムの充実

当社は、2007年度に当社全工場で中央労働災害防止協会のJISHA方式適格OSHMS認定を取得し、労働安全衛生マネジメントシステムのスパイラルアップを目指した取り組みを継続しています。

■ OSHMS認定取得状況

事業場名	所在地	認定年月日	認定番号
高砂工業所	兵庫県	2008年3月10日	08-28-13
大阪工場	大阪府	2007年8月21日	07-27-10
滋賀工場	滋賀県	2008年1月15日	08-25-6
鹿島工場	茨城県	2010年12月13日	10-8-26

■ カネカ社員／グループ会社社員休業・不休業災害発生件数



(注) 災害発生件数把握には、カネカおよびカネカグループで就業する協力会社社員を含む

■ カネカおよびグループ会社社員の災害度数率・強度率

部署	カネカグループ全体		カネカ		国内外グループ会社	
	2017年	2018年	2017年	2018年	2017年	2018年
度数率	0.31	0.23	0.00	0.00	0.47	0.36
強度率	0.01	0.02	0.00	0.00	0.01	0.03

(注) 度数率：労働災害による死傷者の発生頻度を示す指標で、100万延実労働時間あたりに発生する、死傷者数をもって表したもの
強度率：労働災害の発生の程度を示す指標で、1000延労働時間当たりの労働損失日数を用いることで、労働災害の重さの程度を表したもの

いずれも、カネカおよびカネカグループの社員が対象

社内安全表彰

社内基準に基づき、良好な安全成績を残した国内グループ会社4社に対して、社長表彰を行いました。

「安全」は、カネカグループの経営における最重要課題です。今後もカネカグループ全体で各社の優れた活動事例を共有し、ゼロ災達成に向け安全意識の高揚につなげていきます。



OLED青森

社名	無災害期間（2018年度末現在）
OLED青森	2012年12月～（6年3カ月）
カネカ関東スチロール	2012年12月～（6年3カ月）
サンビック	2014年2月～（5年1カ月）
玉井化成	2011年3月～（8年0カ月）

メンタルヘルス対策

メンタルヘルスケアは、こころの健康を守るために大切な取り組みの一つです。2016年から開始したストレスチェックを活用した高ストレス者に対するケアに加え、職場ごとのストレスチェック集団分析を実施し、その結果に基づき各職場環境の課題を抽出し、職場環境改善につなげる取り組みを継続しています。

またストレス解消につながる睡眠セミナーなどの場を提供しています。



質のよい睡眠をとるための睡眠セミナー

CHECK & ACT

2018年のカネカグループの労働災害は12件でした。引き続きゼロ災達成に向けて、「安全基本行動の徹底」「ライン管理の強化」および「リスクアセスメントの基盤強化」を推進していきます。

CSR調達 マネジメントアプローチ

基本的な考え方

当社は、取引先（仕入先）と相互の企業価値の向上を目指し、公平、公正と地球環境への負荷低減をキーワードとした「調達基本方針」のもと、合理性のある資材調達活動に取り組んでいます。

方針

調達基本方針

- ・ 取引先と相互の企業価値の向上を目指した調達活動を推進します。
- ・ 地球環境への負荷低減を目指し、グリーン調達に取り組めます。
- ・ 公平かつ公正な取引機会を提供し、品質、価格、供給安定性、技術開発力、環境保全、安全確保への取り組みなどを総合的に考慮した合理性のある取引を行います。
- ・ 国内外の関連法規制を遵守した取引を行います。

CSR調達

CSR調達

調達基本方針に基づくグリーン調達への取り組み

カネカグループは、「調達基本方針」を制定して地球環境への負荷低減を目指し、グリーン調達に取り組むことを宣言し、それに基づき「グリーン調達基準」を制定しています。

資材調達の取り組み

資材調達部門では、取引先との継続的なコミュニケーションによるパートナーシップ強化に努めています。これは、刻々と変化する市場環境においてカネカと取引先の双方の目線で価値を共創するとともに、相互のレベルアップをねらうものです。

また、「グリーン調達基準」に則って、取引先における環境面に対する取り組み状況の把握を進めていますが、取引先へカネカの取り組みや姿勢を周知するために、カネカウェブサイトの有効活用を検討し、グリーン調達のさらなる推進に努めていきます。

▶ 資材調達の考え方についてはこちらをご覧ください。

物流安全の取り組み

2018年度の物流安全の取り組みとして年間計画を立て、「構内輸送協力会による危険予知トレーニングの実施」や「車両積込時の安全行動チェック」を通じ、構内での安全意識啓発活動を、当社と輸送会社が一体となって実施しました。また、「移動タンク法定検査の実施状況確認」「シナリオに基づく輸送異常の緊急通報訓練」、高砂工業所が一体となった「毒物劇物製品の漏えい処置訓練」を繰り返し実施することによって、事故が発生した場合の措置方法、関係部署への速やかな通報をメンバー全員が再認識し、事故の拡大防止を図るための取り組みを継続的に行っています。



漏えい処置訓練の様子（高砂工業所）

CHECK & ACT

カネカグループは、「グリーン調達基準」に基づく調達活動に継続して取り組みます。

人材戦略 ～Human Driven Company～

社員一人ひとりの健康と成長が変革と価値創造の源泉に

「Human Driven Company」。これがカネカのDNAです。仕事の成果やバリューを生み出し、変革を実現するのは一人ひとりの人材であり、人と組織が健康を維持し、高い生産性を発揮できるように、さまざまな取り組みを進めています。

人の心に火をつけるリーダーの育成 ～「カネカ1on1」を柱とした人材育成～



- ① 目標設定と、環境変化に応じた取り組みの柔軟な見直し
- ② 成長・目標達成に向けた進捗状況の共有と行動変革の促進

Off-JT

- 一粒の種モミ塾
- Kaneka Creative Corner
- The Leadership Challenge Workshop
- 語学研修
- eラーニング など

OJT



「人の成長」と「仕事の成果」はコインの表と裏であり、カネカ1on1を通じて人材育成と目標達成を同時に実現することを目指しています。

ワークショップやコーチング研修などを定期的実施するとともに、効果測定とフィードバックを行い、Value Communicationを深化させています。

また、将来の経営幹部候補、事業や業務を力強くけん引するリーダー人材の育成に向けて、海外グループ会社も含めた研修を実施しています。受講者の中から部門長や海外グループ会社の経営層が誕生してきています。

■ リーダー育成

プログラム名	内容	2016年度	2017年度	2018年度	開講以来の 累計
一粒の種モミ 塾	次期リーダー・経営人材を対象とした、経営トップおよび一流講師陣による講義と演習	13名	12名	12名	49名
Kaneka Creative Corner	ナショナルスタッフの次期リーダー層を対象とした、経営トップおよび一流講師陣による講義と演習	10名	12名	12名	34名
The Leadership Challenge Workshop	リーダーシップスキルの習得と実践、およびそのフォローアップ	(海外) 102名	(海外) 24名	(海外) 21名	(海外) 428名
		(国内) 197名	(国内) 236名	(国内) 288名	(国内) 951名

(注) 集計範囲は、カネカ・国内外グループ会社です。

Work Cultureの変革

Life in Work, Work in Lifeの観点から、有限である「時間」「情報」「人材」を有効活用し、組織と個人の生産性を最大化させるため、ESG推進会議の下にWork Culture部会を設置して、会議・打ち合わせの見直しやオフィス環境の変革などを進めています。Value Communicationの強化と、同じPurposeに向かってメンバーが結束する強い組織づくりに取り組んでいます。

あわせて、在宅勤務の積極的活用など、個人の生活と調和する柔軟な勤務を選択できるさまざまな制度を導入し、働き方の変革を進めてきました。短時間勤務制度や時差出勤制度、託児費用補助金など、育児や介護と仕事の両立を支援する仕組みも拡充してきており、さらに、少子高齢化などに伴う課題を先取りした、より柔軟性が高く働きやすい環境を整備していきます。

今後も、制度の拡充や見直しに加えてさらに使いやすい仕組みと風土づくりに努め、すべての社員の仕事と生活が充実し、働きがいの持てる場を提供していきます。

多様な人材

女性社員の活躍推進

当社はソリューションプロバイダーとして世の中のさまざまな課題解決に挑戦しています。その挑戦を支えるために、多様な価値観を持つ人材の活躍推進は、重要な取り組みの一つと捉えています。

特に女性については、ここ数年、採用拡大（大卒・高専卒の女性比率33%）、職域拡大（従来配属していた研究開発や営業、スタッフといった部門だけでなく、製造部門への積極的な配置）の取り組みを進めています。女性が活躍する風土づくりや積極的な幹部登用を推進し、ビジネスや経営面において女性の能力が発揮できるチャンスを増やしています。女性ならではのアイデアをソリューションにつなげていきます。

外国籍社員の採用と活躍推進

カネカグループ全体約11,000名の社員のうち、約3,000名の外国籍社員が全世界で業務に従事しており、国内外で活躍しています。

事業がグローバルに広がるなか、さらに採用数を増やしています。また、海外留学派遣や海外トレーニー制度により、母国以外での経験を積んでもらうなど、将来のグローバルリーダー育成に力を入れています。

障がい者雇用

カネカにおける2018年度の障がい者雇用率は、2.17%でした。今後職域を拡大して採用者を増加させるとともに、働きやすい職場づくりなどの取り組み強化およびグループ会社の雇用支援を行い、グループ全体の雇用率向上を目指します。

シニアの活用

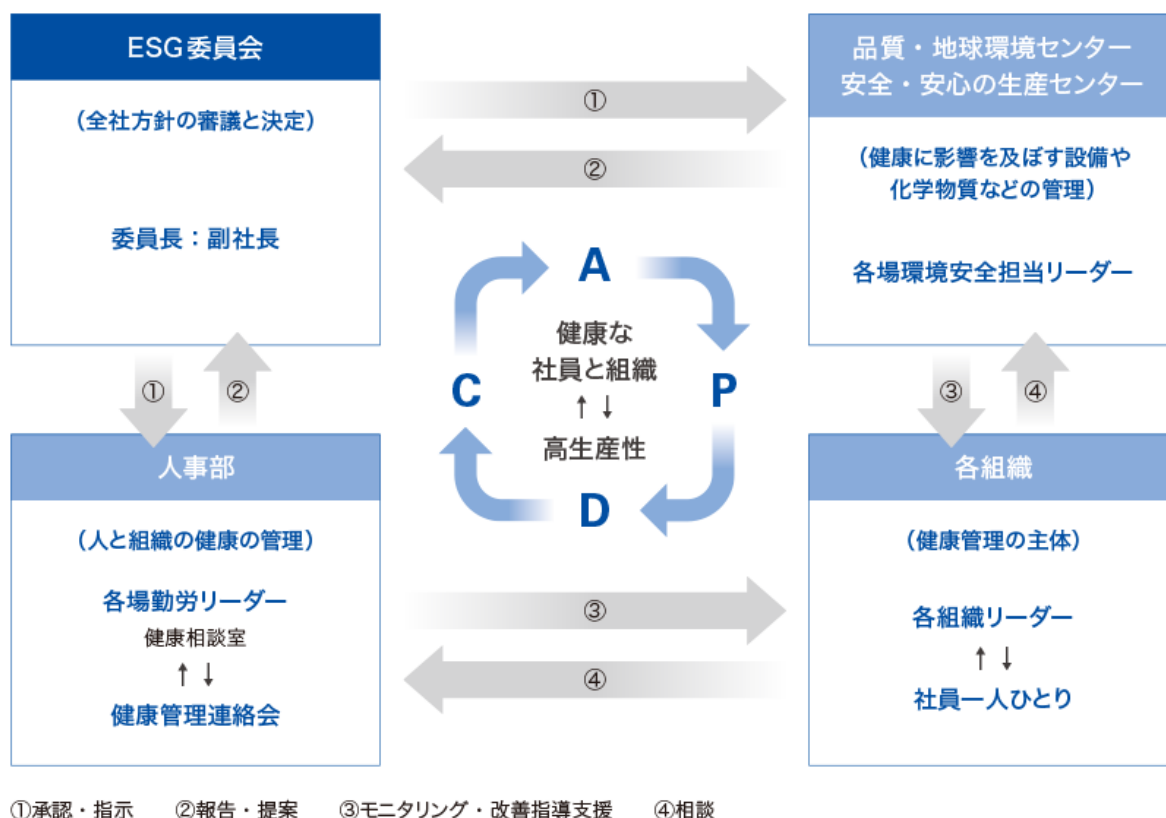
定年退職後のシニア社員を貴重な戦力と捉え、65歳までの継続雇用を行っています。

60歳以降も活き活きと働くために、50歳、55歳の社員を対象とするキャリアデザイン研修を開催しています。

また、人生100年時代を見据えて、シニアが自律的にキャリアを形成し意欲高く働けるように、新しい制度づくりを進めています。

社員の健康

健康維持・増進に向けた体制



2018年に健康管理推進基準を制定し、全社の体制を整備しました。

生活習慣改善への気づきの場の提供

カネカグループで働くすべての社員およびその家族が、心身ともに健康で活き活きとした日常を過ごすことを何よりも大切にしています。

そのために、社員一人ひとりが自ら健康への意識を高め、行動を変えていくさまざまな場（コンテンツ）を提供し、社員のセルフケア意識の向上や健全な生活習慣の定着につながるよう支援しています。たくさんの社員がこれらの活動に積極的に参加しています。

- ・生活習慣改善の意識向上に向け、希望者全員にウェアラブル端末を配布し、エネルギー摂取量・消費量、睡眠時間などを可視化
- ・「ウォーキングチャレンジ」を実施し、歩いた距離で優秀者を表彰
- ・工場食堂でスマートミールなどヘルシーメニュー導入
- ・オフィスヨガや睡眠セミナーなど体験プログラム提供
- ・受動喫煙防止のため、オフィスでの喫煙所廃止や工場での就業時間内禁煙活動を実施



社員に導入されたウェアラブルツール



アプリとの連動で生活習慣を可視化



オフィスヨガプログラムの提供

会社を挙げて「走る」

健康への意識向上、体型の維持・改善、体力増進などに向けて、さまざまな「走る」取り組みを行っています。

- ・フルマラソンのタイムを伸ばしたい方、自身の健康のために何か運動を始めたい方、ランニングを習慣にしたい方、などをバックアップする練習会やセミナーの実施
- ・海外を含むカネカグループ各社と協力会社が一堂に会しての駅伝大会“Run, Run, Run. Kaneka”の継続実施

■ 駅伝出走者数

年度	2016	2017	2018
人数	950名	2,031名	2,288名

- ・ 北海道マラソンへの協賛



北海道マラソン出場に向けたタイムトライアル



駅伝大会Run, Run, Run. Kaneka 2018

社会貢献

マネジメントアプローチ

基本的な考え方

カネカグループは「良き企業市民」として、ステークホルダーの皆さまに理解を深めてもらうため、自然災害への復興支援をはじめ、次世代育成、国際貢献や環境保全などさまざまな取り組みを行い、社会に対して開かれた透明性の高い企業として、地域や社会との関係構築を図っています。

社会貢献

災害復興支援

「KANEKA UNITED きずな基金」の創設と台風15号・19号への支援

当社は、2018年度から「ESG経営」に舵を切りました。社員の健康維持・増進はもちろんのこと、「カネカは世界を健康にする。KANEKA thinks “Wellness First”」の経営理念のもと、2019年9月に、自然災害被災地が一日も早く日常—健康な姿—を取り戻すことへの支援を目的とする「KANEKA UNITED きずな基金」を創設しました。本基金は、会社が創設時点および定期的に拠出する積立金と、創設主旨に自発的に賛同する社員個人が定期的に拠出する積立金で成り立っています。

2019年9月10日に発生した台風15号、19号では、被災者の救援や復興に役立てていただくための義援金として、「KANEKA UNITED きずな基金」を通じて1,000万円を特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォームへ寄付しました。

被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

平成30年7月豪雨（西日本豪雨）、北海道胆振東部地震の被害に対する支援

2018年6月28日から7月8日にかけて発生した「平成30年7月豪雨」では、猛暑対策として仮設住宅の建設現場に当社の太陽電池を用いたミストファンを設置しました。

また、2018年9月6日に起きた「北海道胆振東部地震」へは、災害支援物資の提供を行いました。

今後もさまざまな側面から復興支援活動を継続していきます。

社会貢献

次世代育成

カネカグループは、地域・社会の次世代の育成に向けた取り組みを積極的に行っています。
今後も次世代育成を通じた地域社会貢献を継続していきます。

「カネカものづくり教室」を継続して開催

当社を含めた企業OBで構成される団体「認定NPO法人コアネット」では、産業界で培ったノウハウを次世代育成に活かそうと小学校の教育支援を行っています。

2014年から「カネカものづくり教室」として支援を開始し、取り組みを継続しています。教室では、ものづくりへの興味・理解を高めることをねらいに、小学6年生を対象に工作キット「スクローラーⅡ」を組み立てます。

2018年は、7月に大阪工場近隣の鳥飼西小学校（6年生90名）、10月に高砂工業所近隣の高砂小学校（6年生68名）、12月には滋賀工場近隣の下阪本小学校（6年生115名）で開催しました。

高砂工業所・大阪工場・滋賀工場の新入社員を中心とした社員も講師として参加し、子どもたちにもものづくりの面白さや達成感を味わってもらおうと支援を行いました。工作キット完成後の体育館での試運転では、子どもたちの大きな歓声が上がっていました。



カネカ高砂工業所



カネカ大阪工場

カネカグループの取り組み

<カネカ全工場、国内外グループ会社>

定期的に近隣学生のインターンシップや現場実習・職業体験などの受け入れ。中学生「トライやる・ウィーク」にも協賛。また近隣学校や地域自治会などの工場・施設見学会を開催。



ジャムの原料加工作業の実習（新化食品）



中学生の職業体験（カネカ食品）



近隣小学校の工場見学（高知スチロール）



小学2年生の社会科見学受け入れ（カネカ西日本スチロール）

<カネカ全工場、国内外グループ会社>

小学生以上の学生を対象に、出前授業や実験教室の開催。



小学6年生に、会社紹介や研究職社員による仕事紹介、働くということについて考えてもらう機会「ようこそ大先輩」を開催（カネカ滋賀工場）



発泡樹脂を使った出前授業（カネカ鹿島工場）



地元子ども向けに消防安全の授業を開催（青島海華繊維有限公司）

<カネカ高砂工業所、カネカ高砂サービスセンター>

近隣の園児、小学生、養護学校生の皆さんと芋の根植え（5月）～収穫祭（11月）を実施。

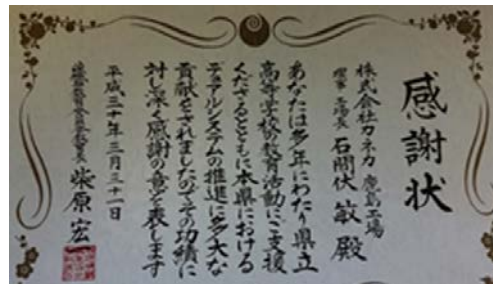


芋の根植え

＜カネカ鹿島工場、カネカベルギー＞

学生向けに「学習」と「仕事」を組み合わせる「デュアルシステム（※）」の導入。化学プラントでの専門的な技術や理論・実践などトレーニングできる環境を提供。

※ デュアルシステム：学術的教育と職業教育を同時に進めるシステム。



長年にわたる教育活動支援の貢献に対し、感謝状を授受（カネカ鹿島工場）

＜セメダイン＞

- ・工場のある古河市の新1年生全員に、お祝いとして木工用接着剤を贈呈。
- ・「すべての子どもに等しく、ゆたかな環境のなかで教育を受けさせたい」という願いをこめたベルマーク活動に共感し、協賛。
- ・レスリングの普及・発展と選手育成に取り組んでいる日本レスリング協会の活動に賛同し、支援。



ベルマークロゴ



新1年生に接着剤をプレゼント

＜カネカ滋賀工場、カネカテクノリサーチ、セメダイン＞

次世代を担う学生たち向けのイベントに協賛・寄付。

＜カネカ大阪工場＞

地元高校生を対象に、装置を扱う際の危険や安全に関する知識を身につけてもらう安全体感学習と安全講話を開催。

＜カネカアメリカズホールディング＞

- ・社会貢献活動の企画・実行のための組織“Kaneka Foundation”から、テキサス州の地元高校2校に対し、学生リーダーシップチャレンジプロジェクトを支援。プロジェクトに必要な知識・資料などを提供し、教師やアドバイザー向けに半日ワークショップを開催。
- ・“Kaneka Foundation”から、地元高校の生徒に年間1,000ドル、4年間の奨学金を提供。1994年から25年間継続中。

＜カネカメディックス＞

地元小学校にベルマークを寄付。

＜リバーセイコー＞

「SSH（スーパーサイエンスハイスクール）事業における先端技術産業等の見学・研修」において地元高校1年生約20名を対象に、日本の医療機器産業、当社製品や医療機器の設計開発について講義。

社会貢献

地域・社会（カネカグループの取り組み）

カネカグループは「良き企業市民」として、ステークホルダーの皆さまに理解を深めてもらうため、社会に対して開かれた透明性の高い企業活動を行うことで、地域社会との関係構築を図っています。

地域との共生／貢献

<カネカ全工場、国内外グループ会社>

近隣住民、社員、協力会社の方々が参加する夏祭りや納涼祭、サマーフェスティバルの開催。



夏祭りを開催（カネカ高砂工業所）



夏祭りを開催（カネカ大阪工場）



工業団地設立周年イベントを企画（カネカソーラーテック）

<カネカ全工場、国内外グループ会社>

地域の例大祭や花火大会、各種イベントの寄付および広告協賛。またイベントの出店や製品・飲食料の提供で協力。



地域の花火大会実行委員会へ寄付（カネカメディックス）



「暴力追放・地域安全赤穂市民大会」に参加（大阪合成有機化学研究所）



「青森ねぶた祭り2018」に有機EL照明光源を使用した前ねぶたで出陣（OLED青森）



地元の「みよしまつり」に出店（東京カネカフード）

＜カネカ全工場、国内外グループ会社＞

近隣企業、工業団地組合などが主催する各種スポーツ大会に参加。（駅伝、マラソン、ジョギング、ウォーキング、サッカー、ソフトボール、バレーボール、ボウリングなど）



慈善ジョギングイベントに参加し、収益は白質変性疾患欧州協会に寄付（カネカユーロジェンテック）



フットサル大会に参加（カネカフード）

＜カネカ全工場、カネカサンスパイス、カネカメディックス、東京カネカフード、青島海華繊維有限公司＞

地域の消防本部との総合防災訓練の実施。

消火訓練大会、交通安全や安全推進活動など積極的に参加。



水害から生命と財産を守るための総合防災訓練（カネカ大阪工場）



豊岡市消防本部との合同消防訓練（カネカソーラーテック）



初期消火大会に参加（カネカサンスパイス）

＜カネカアメリカズホールディング＞

- ・ バイエリアのコミュニティ集会に毎月参加し、化学産業や地域社会の問題意識について地元市民と直接対話を実施。
- ・ 地元商工会議所と連携し、地域の非営利団体のリーダー向けに、リーダーシップチャレンジワークショップを提供。



毎年恒例のイベント「リーダーシップチャレンジワークショップ」

＜カネカシンガポール＞

高齢者施設を慰問し、コミュニケーションゲームなどの交流活動を継続実施。



＜カネカ、カネカ食品、カネカ北海道＞

「北海道マラソン2018」へ特別協賛。また当日、ランナーの方へ『Q10入りあんぱん』と『Q10入りクリームパン』各5,500個を無料配布。

＜OLED青森、セメダイン＞

地元スポーツ団体をサポート。スポーツ文化の振興育成に取り組む。

＜カネカベルギー＞

地元のサッカーチームと提携し、障がい者がスポーツに参加する機会向上を推進している「Gスポーツフランダース基金」への協賛と、ユースGサッカーチームの支援。

＜カネカメディックス、九州カネライト＞

地域の自治会や企業間で意見交換会に参加。

環境活動

<カネカ全工場、国内外グループ会社>

地域自治体などとの共同または各事業場単位で、事業場の周辺や幹線道路、コンビニート内、社員寮周辺などの清掃美化活動を実施。また近隣の海・河川周辺の草刈り・ヨシ刈りやクリーンアップ大作戦に参加。



近隣道路などの除雪活動
(カネカ東北スチロール)



地元町内会と合同で清掃活動
(カネカ北海道スチロール)



事業所周辺の草刈りを年4回
実施 (カネカメディックス)



河川の一斉清掃に参加 (高知スチロール)

<カネカ鹿島工場>

鹿島工場西地区のメガソーラー施設の見学を受け入れ。近隣の学生たちが来場。



<カネカ高砂サービスセンター>

歩道際のフェンス沿いに大型プランターを設置し、年間を通じて花の植え付けや手入れを実施。道行く人の心を和ませ、タバコのポイ捨てやごみが激減した。



<太陽油脂>

RSPO (※) 普及活動として、パーム農園の現状や活動の意義について、企業・お客様・学生向けに説明会を10回開催した。

※ RSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil) : 「持続可能なパーム油のための円卓会議」。世界規模の非営利組織団体。環境や人権に配慮した持続可能なパーム油生産について、生産者・消費者の団体や企業が参加し考える会議。



<アナスペック、カネカユーロジェンテック>

カーシェアや公共交通機関の利用を促進。

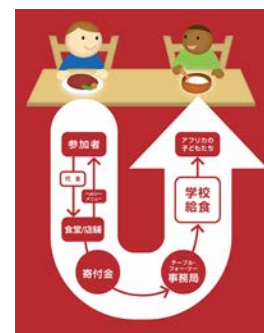
＜カネカアメリカズホールディング＞

近隣の広大な自然保護区アーマンド・バイユー・ネイチャー・センターを長年支援。
ガルベストーン湾とその河口付近の海洋生物を保護するガルベストーン湾財団を支援。

国際貢献

＜カネカ東京本社、高砂工業所、大阪工場、滋賀工場＞

「TABLE FOR TWO（TFT）」の社会貢献活動に継続参加。事業場の社員食堂でTFTメニュー1食につき20円をTFTを通じて、開発途上国の子どもたちの学校給食としてプレゼントする活動。2018年度は、244,800円、学校給食12,240食分を寄付。



TFTの仕組み

＜カネカ、カネカサンスパイス＞

カネカは、国連WFP（World Food Programme）「学校給食プログラム」のパートナー企業として2013年から継続支援。当社品である合成繊維カネカロンの最大市場であるアフリカにて、学校給食支援や出席率向上を目的とする家庭持ち帰り食糧配給活動に賛同・寄付。また、学校給食支援を目的とした国連WFP協会主催のチャリティーイベント「WFPエッセイコンテスト2018」にはカネカ、「WFPウォーク・ザ・ワールドin大阪2018」にはカネカとカネカサンスパイスが協賛。



WFPウォーク・ザ・ワールドin大阪2018

＜カネカメディックス＞

「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」の取り組みに賛同し、ペットボトルキャップの回収運動を実施。

表彰

<大阪合成有機化学研究所>

- ラジオ体操の積極的な実施と普及活動、および社員の健康増進の取り組みに対し、かんぼ生命からラジオ体操優良団体表彰を授受。
- 津山危険物安全協会から優良危険物取扱者表彰を授受。
- 2003年から15年間の無事故無災害を継続し、西宮市から安全衛生努力賞を授受。



津山危険物安全協会から表彰状を授受

<カネカアメリカズホールディング>

環境保全や地域への奉仕活動に対し、テキサスケミカルカウンシルからテキサスケア賞優秀賞を授受。



<カネカファーマベトナム>

Binh Duong省の環境優良企業に贈られるGREEN BOOK賞を授受。



<カネカベルギー・ユーロジェンテック>

ベルギー・ブリュッセルの化学および生命科学の産業革新
「Belgian innovation award 2019」のファイナリストにノミネートされた。



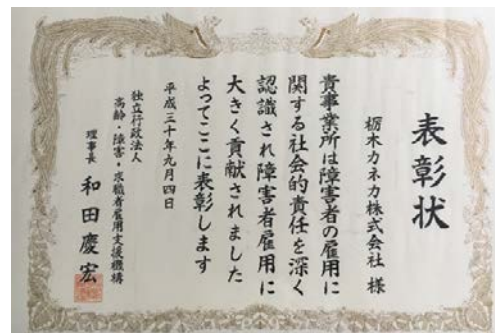
＜カネカマレーシア＞

マレーシア化学工業協会からカネカマレーシアの行動規範「汚染防止コード」と「プロセス安全コード」を授受。



＜栃木カネカ＞

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構より、平成30年度障がい者雇用優良事業所などで理事長表彰を授受。



＜カネカ＞

- ・「健康経営優良法人2019（ホワイト500）」に認定。
- ・有機合成化学協会より、「連続フロー反応による医薬品の革新的プロセス開発」で平成30年度有機合成化学協会賞（技術的なもの）を授受。
- ・日本生物工学会より、「微生物による生分解性ポリマーPHBH製造方法の開発」で2018年生物工学技術賞を授受。
- ・国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構との共同研究「茎頂メリステムをターゲットにした培養不要で汎用性の高い遺伝子改変技術の開発」で日本植物細胞分子生物学会の2018年度技術賞を授受。
- ・文部科学省より、「完全飽和型イソブチレン系熱可塑性エラストマーの開発」で、平成30年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）を授受。

＜カネカ高砂工業所＞

高砂市への寄付に対して、高砂市頌志賞（団体の部）を授受。

＜カネカ大阪工場＞

総合防災訓練中に発生した救急事案に対し、迅速で適切な行動により人命救助した功績に対して表彰。

＜OLED青森＞

地元産直店へOLED鏡を寄贈し、善行表彰を授受。

＜鐘化（佛山）高性能材料有限公司＞

地元政府の企業環境信用ランキングで、優良企業の評価獲得。

＜カネカベルギー＞

カネカMSポリマーの技術が、“Henkel Adhesive Technologies - Supplier Innovation Award”でヘンケル社から表彰された。今回で3回目の授受。

<カネカ北海道>

北海道命名150年事業への寄付に対し、北海道知事より感謝状を授受。

<東京カネカフード>

一般社団法人所沢地区労働基準協会より無災害記録証を授受。（無災害時間は2018年10月15日までで303万時間（約8年間））

<東武化学>

下妻地区危険物安全協会より、危険物取扱に関する長年の無事故・無違反に対し、会長表彰を授受。

その他の取り組み

<カネカ>

“日本センチュリー交響楽団”の法人サポーターとして、協賛・支援。同楽団は、定期演奏会の他、子どもたちに音楽を聴き、親しんでもらうための教育プログラムや病院・特別支援学校への出張コンサートなど、地域に根ざした活動に力を入れている。



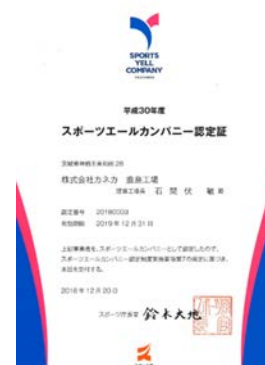
特別支援学校への出張コンサート



カネカ大阪工場の近隣自治会の皆さまを招待し、ミニコンサートとカネカビオトープ・ホテル鑑賞会を開催

<カネカ鹿島工場>

社員の健康増進のためのスポーツ実施に向けた積極的な取り組みが認められ、「スポーツエールカンパニー」に認定。



＜大阪合成有機化学研究所、カネカシンガポール、カネカユーロジェンテック、セメダイン＞

多くの社員が献血に協力。

セメダインは、日本赤十字社より感謝状を授受。



社員が献血に協力（カネカシンガポール）



日本赤十字社より感謝状を授受（セメダイン）

＜カネカ全工場、大阪合成有機化学研究所、カネカサンスパイス、カネカ食品、カネカ高砂サービスセンター、カネカ中部スチロール、カネカ東北スチロール、滋賀電子＞

日本赤十字社、赤い羽根共同募金、国境なき医師団、地域の社会福祉協議会、その他団体に寄付。

＜カネカ高砂工業所、カネカ北海道＞

夏祭りでの売上の一部、製パン講習会での収益金を、「北海道胆振東部地震」被災者救援募金に寄付。

＜カネカベルギー＞

若いミュージシャンや音楽と芸術の教育機会を提供するシンフォニックユースオーケストラ“Musilene”を支援。

＜カネカマレーシア＞

社員の有志から、家族に不幸のあった社員へ寄付を行った。

＜バイオマスター＞

医療機関向けに、再生細胞医療や乳がん検診・乳がん治療、乳房再建について講演。

ステークホルダーコミュニケーション

株主・投資家向け報告書について

年2回、株主の方へ「株主のみなさまへ」と題する報告書を送付するとともに、株主以外の方にもご覧いただけるようにホームページへ掲載しています。当期に起きた出来事をトピックスとして写真を掲載しながら読みやすく紹介するとともに、中間報告書では、当社の経営戦略などを代表取締役社長がわかりやすく説明し、株主の皆さまに関心が高いテーマを特集記事として掲載しています。2010年から表紙を大幅に変更するとともに、2013年からは紙面サイズを大判化させ、誌面づくりに工夫を重ねています。さらに、環境に配慮した植物油インクの使用や読みやすいUDフォントの使用という対応も行っています。



報告書（株主のみなさまへ）

情報の開示とIRコミュニケーション

当社は、経営理念をもとに経営戦略と経営計画を策定し、その内容が株主をはじめとするステークホルダーの皆さまに理解され支持されるように、適時適切な情報を開示し、経営の透明性を高めます。本決算および四半期決算開示後に説明会を実施し、代表取締役もしくは担当役員が説明を行っています。

また、決算短信、有価証券報告書、四半期報告書、カネカレポート統合報告書、決算説明資料などをホームページに掲載しています。



決算説明会（証券アナリスト・機関投資家向け）の様子

CHECK & ACT

前年度の活動を踏まえ、次年度も株主・投資家の皆さまへの適切な情報開示を行います。